

# コロナ禍から

課題を見だし、  
展望を拓く

支援論の新地平  
Vol.3

第3回  
龍谷大学  
現代福祉研究会

2022年2月26日(土) 10:00~12:15 Zoomミーティング

申し込みフォーム



※現代福祉研究会は、龍谷大学の学生、卒業生、教員からなる学びの場です。

コロナ禍となり3度目の春を迎えようとしている現在、必要なことはもはや嘆きではなく、課題を具体的に整理し、新たな関係や支えをどう創っていくかの検討ではないでしょうか。

第3回の現代福祉研究会では、このテーマを研究と実践の立場からの講演、報告から学び、グループディスカッションを通して深めていきたいと考えています。

## 第1部 コロナ禍の政策と実践

(1)「コロナ禍があぶりだした生活困窮問題と政策課題」

龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 砂脇 恵

(2)「コロナ禍の多職種連携拠点の実践～地域の医療ソーシャルワーカーの役割」

豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点 室長

医療ソーシャルワーカー 中辻 康博

(3) 報告者との鼎談 龍谷大学社会学部現代福祉学科 筒井 のり子

## 第2部 参加者交流会「福祉を語る、福祉を創る」(グループディスカッション)

実践分野・テーマ別のグループに分かれ、参加者同士のオンライン交流会を行います。

※第1部と第2部の間に総会を開催します。

※第2部終了後、希望者でフリートークの時間を持ちます。

お問い合わせ:現代福祉研究会事務局 gendaifukusi@gmail.com

# コロナ禍から 課題を見いだし展望を拓く

## 砂脇 恵

龍谷大学社会学部  
現代福祉学科

### 「コロナ禍があぶりだした生活困窮問題と政策課題」

コロナ禍という非常事態は、これまで就労・雇用や社会保障の面で不利に置かれてきた非正規労働者、女性、フリーランス・自営業、外国人等の生活困窮問題を顕在化させた。このことは平時から社会的に排除されてきた人びとの暮らしの基盤が脆弱であったこととともに、生活困窮・貧困問題への政策対応の不在、制度の狭間の問題をあぶりだした。

本報告では生活困窮問題の現状と問題構造と政策課題を明らかにする。

## 中辻 康博

豊島区在宅医療相談窓口・  
多職種連携拠点 室長  
医療ソーシャルワーカー

### 「コロナ禍の多職種連携拠点の実践 ～地域の医療ソーシャルワーカーの役割」

病院から在宅への円滑な移行や、在宅療養継続のため、各市区町村に在宅医療・介護連携に関する相談窓口が設置されている。豊島区では医療ソーシャルワーカーを配置し、在宅医療に関する個別相談対応から多職種連携の推進まで幅広い活動を行っている。

地域住民が住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けることができるよう、平時から多職種協働による「地域包括ケアシステムの構築」を推進してきた。コロナ禍においても、多職種で地域の課題に一つずつ向き合いながら、新しい取組を模索し活動してきた実践について報告する。

## お申し込み

チラシ表面のQRコード  
あるいは<https://forms.gle/ppeUTaEQA1g92Vwv6>  
締め切り（2022年2月15日）

お申し込みの方には、事前にZOOMの参加案内をメールでお送りします。